

令和7年度 第8回県政参画電子アンケート  
「孤独・孤立」に係る相談援助に関するアンケート  
結果概要

1 調査概要

- テーマ 「孤独・孤立」に係る相談援助に関するアンケート
- 実施期間 令和8年1月23日～令和8年2月2日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 734名
- 回答数 448名(回答率 61.0%)

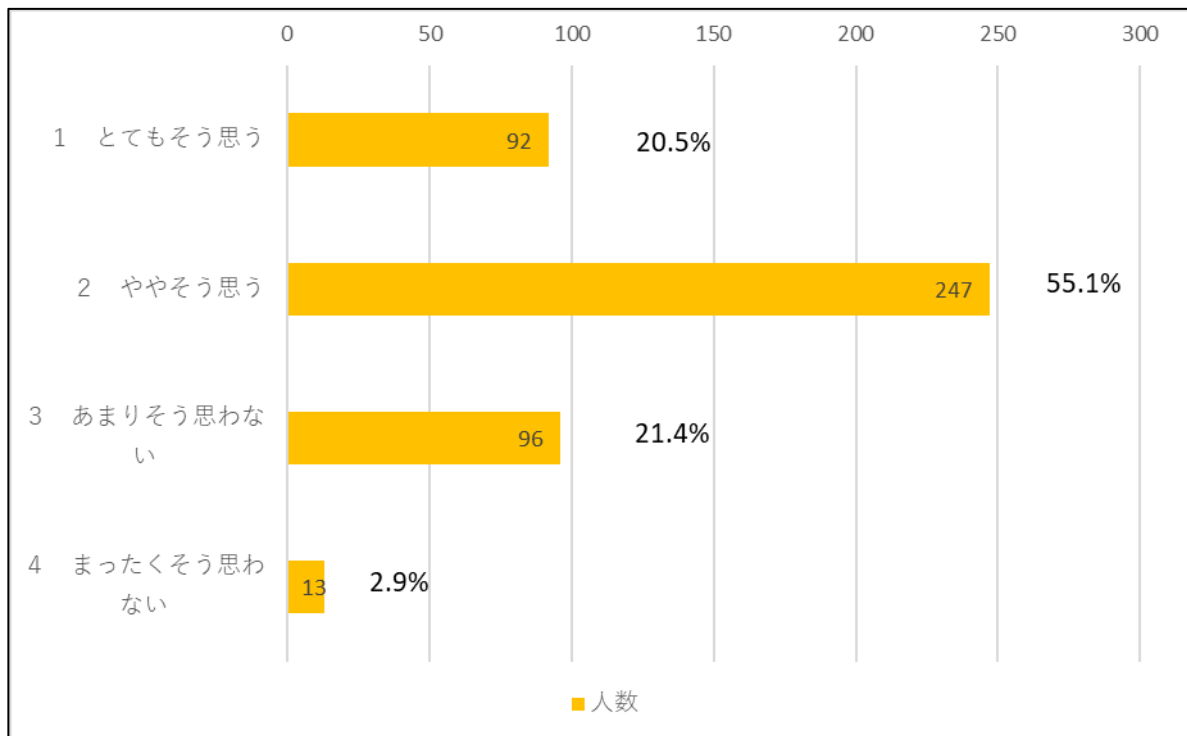
2 目的・概要

鳥取県では「鳥取県孤独・孤立を防ぐ温もりのある支え愛社会づくり推進条例」を制定し、県民の望まない孤独・孤立を防ぎ、誰一人取り残さない社会づくりを推進しており、令和6年度から援助を必要とする地域住民の存在に気づき、支援につなげる「とっとり孤独・孤立サポーター」の養成等に取り組んでいます。

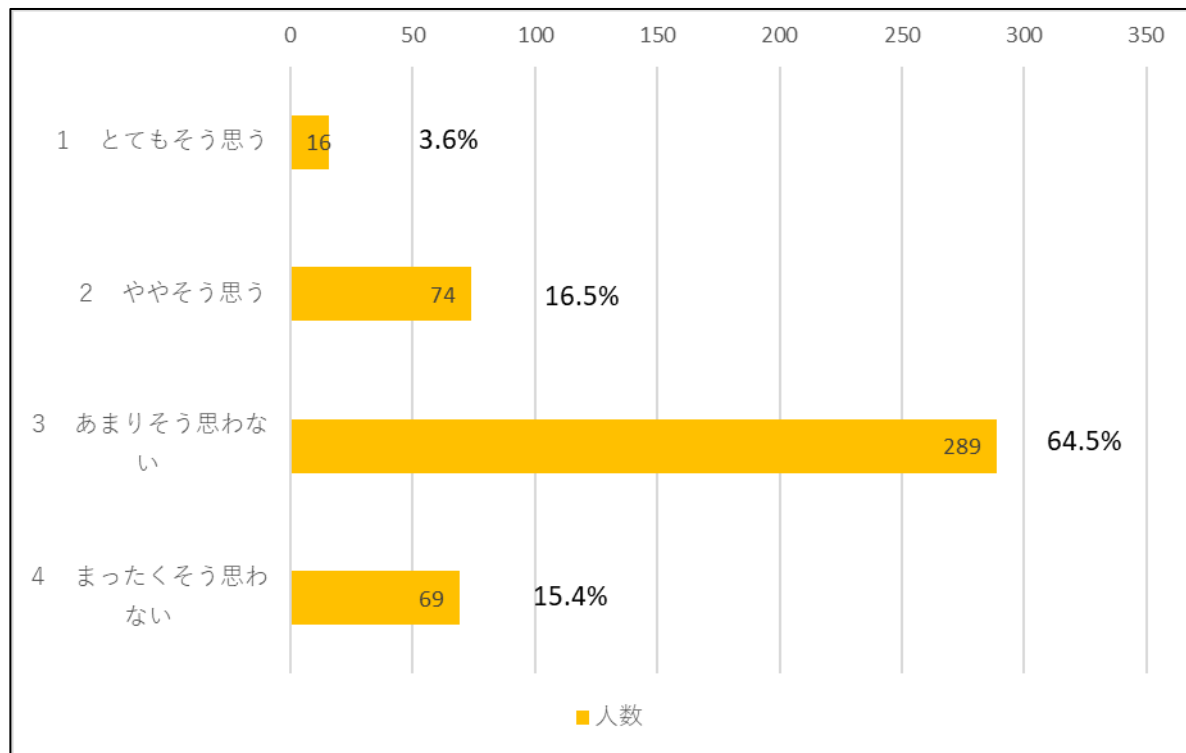
このたび、援助を要する人が意思表示しやすい環境整備や施策検討に活かし、大人も子どもも誰もが助けると言える社会づくりにつなげることを目的とした、「悩みを抱えている状態で誰かに相談・サポートを求めること(援助要請)」の意識や態度の傾向を調査するアンケートを実施しました。皆様のご協力ありがとうございました。

【問1】 今の社会についてのあなたの考えを、それぞれ1つずつお選びください。

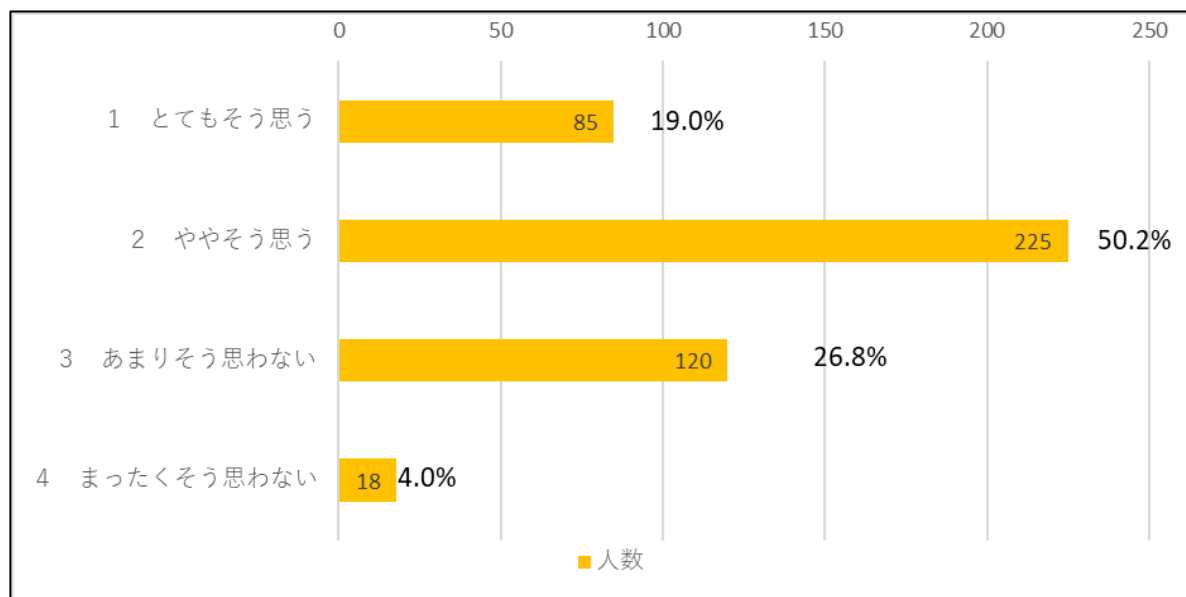
【問1-1】 今の社会は、困りごとは自己責任だと考えている人が多い。



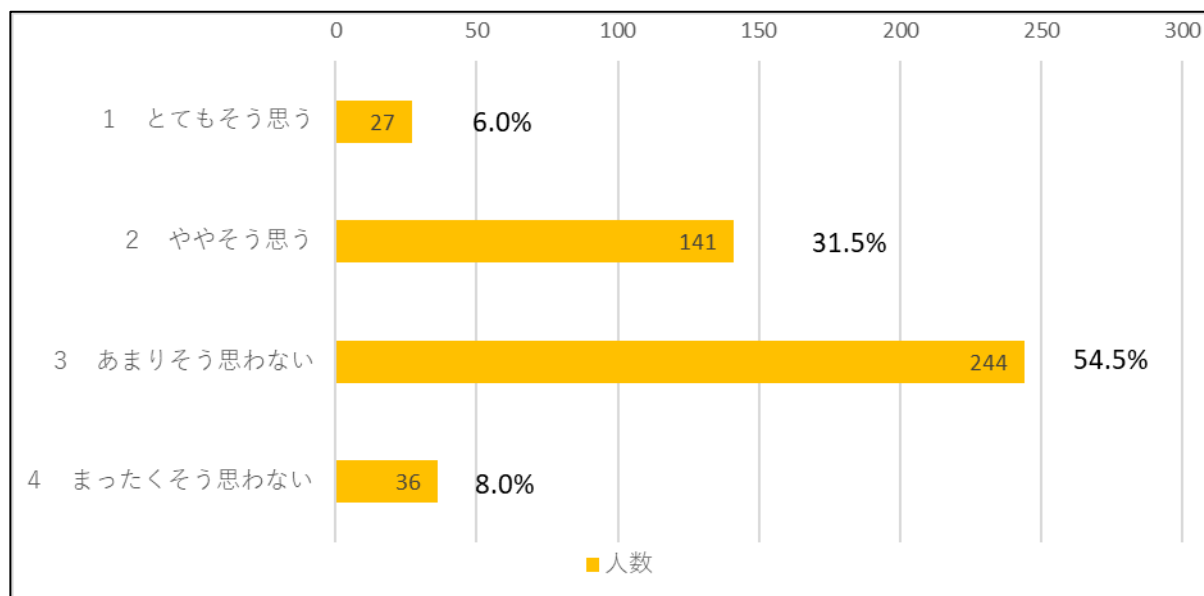
【問1-2】今の社会は、困った時に「助けて」と言いやすい。



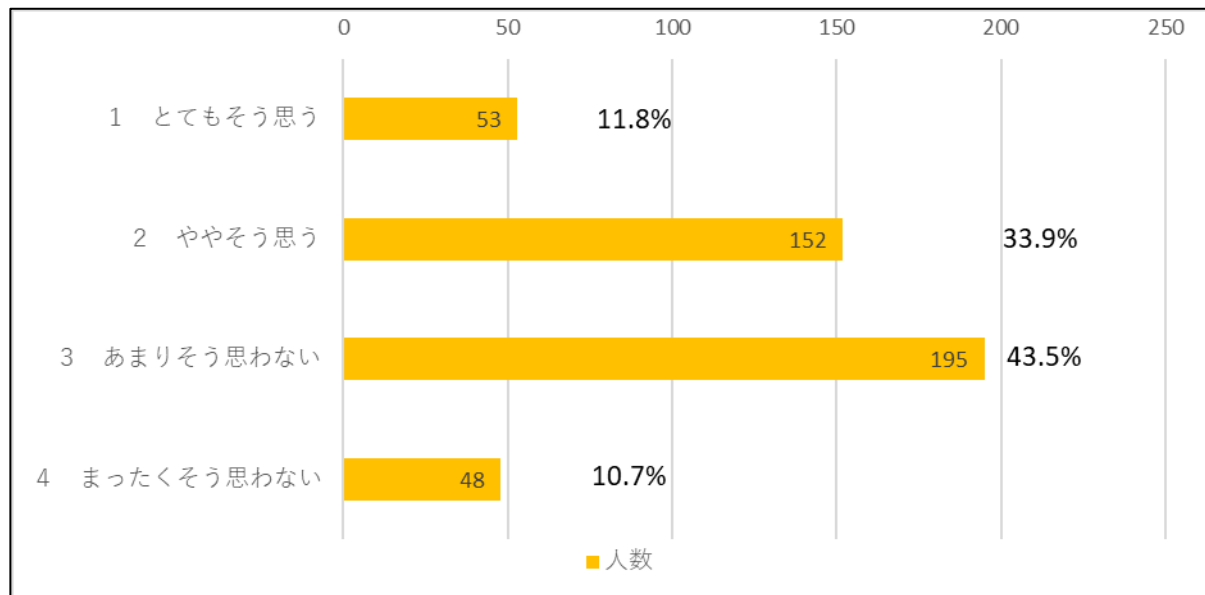
【問1-3】今の社会は、どんな時も社会的または経済的に役に立つ存在であることを求める。



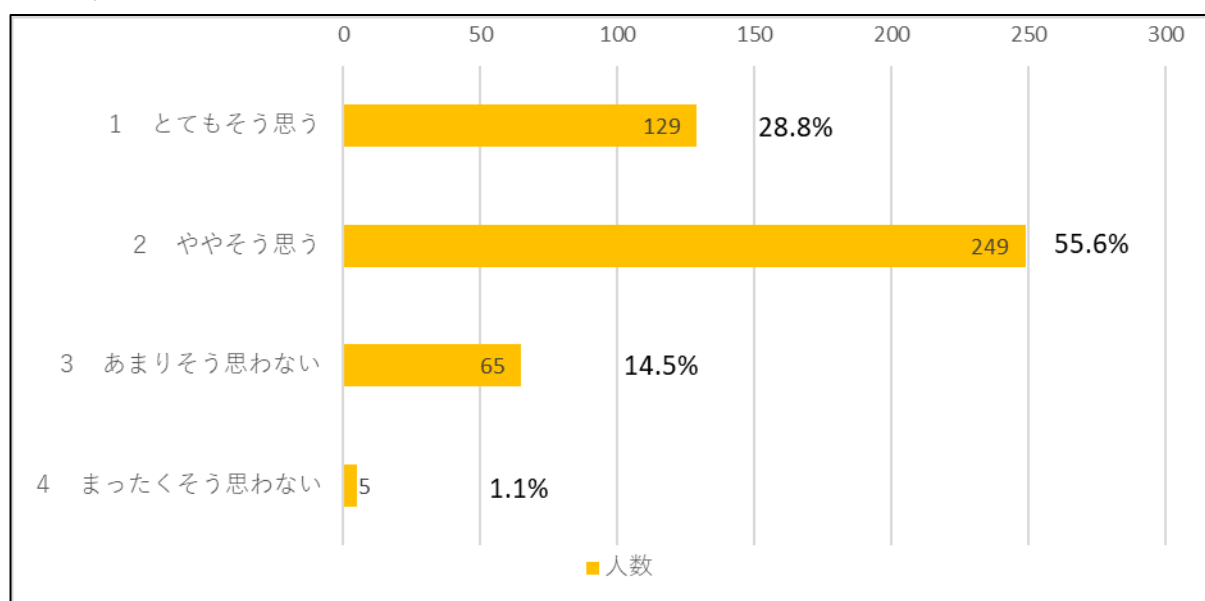
【問1-4】今の社会は、失敗したり過ちを犯したりしても、やり直すことができる。



【問1-5】今の社会は、知らない誰かと新たにつながることが難しい。

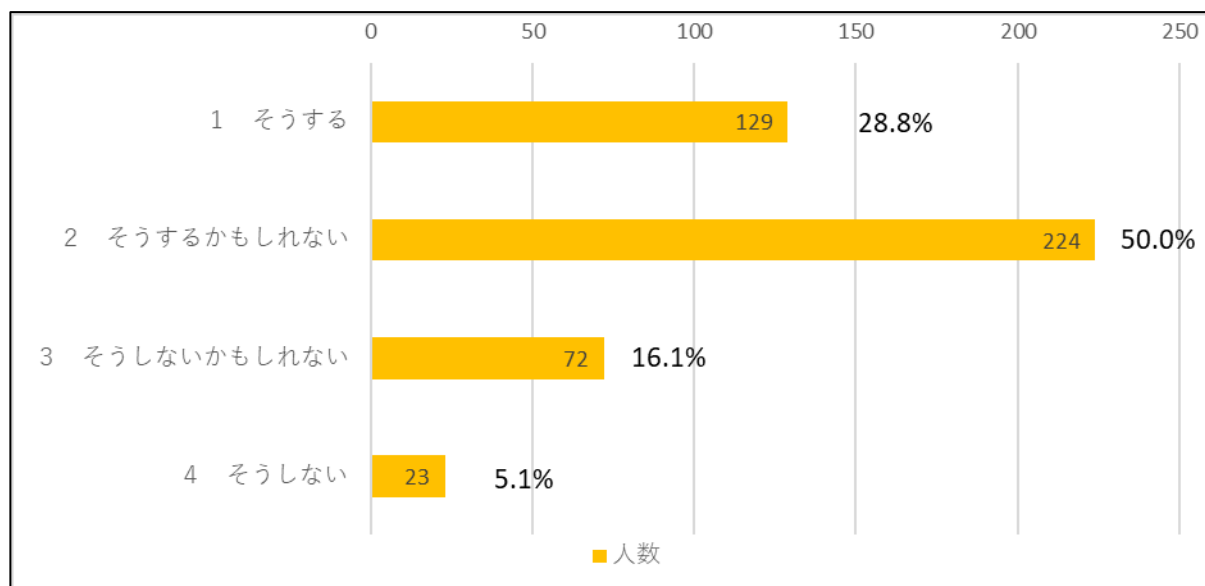


【問1-6】今の社会は、レッテルを貼ったり決めつけたりする人が多い。

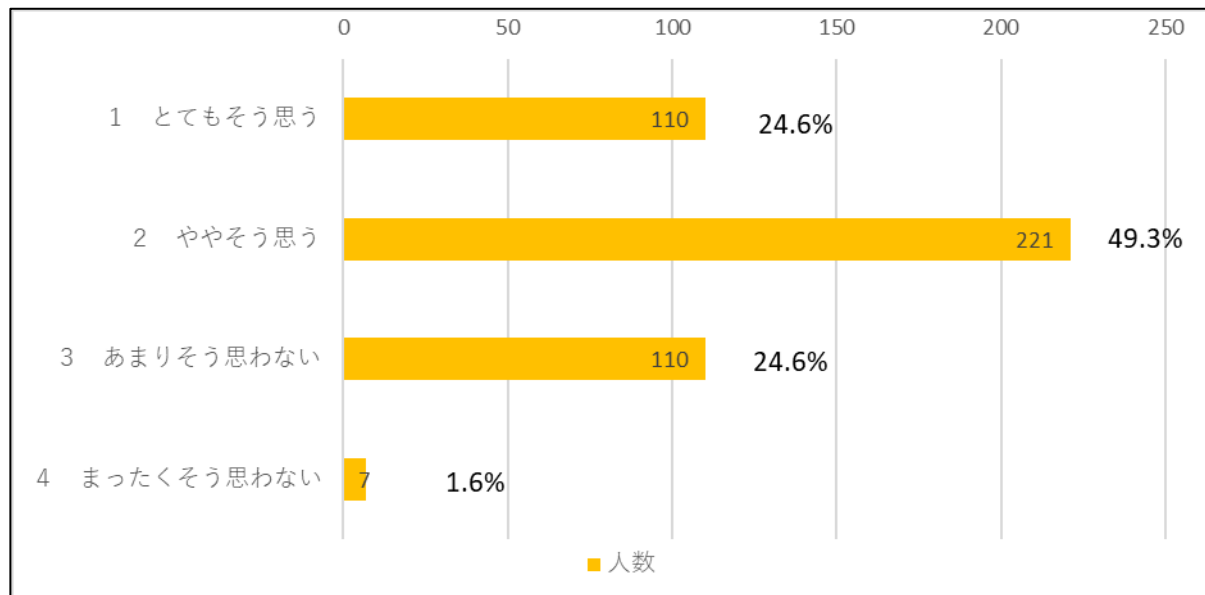


【問2】あなた自身について当てはまるものをそれぞれ1つずつお選びください。

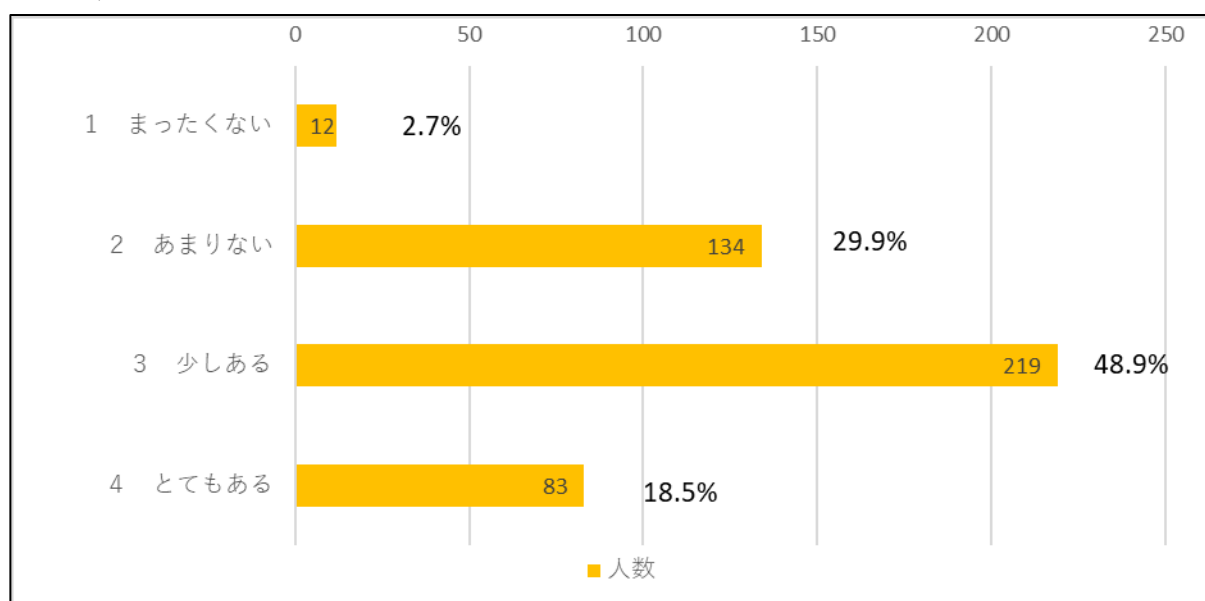
【問2-1】もし今悩んでいるとしたら、誰かに相談する。



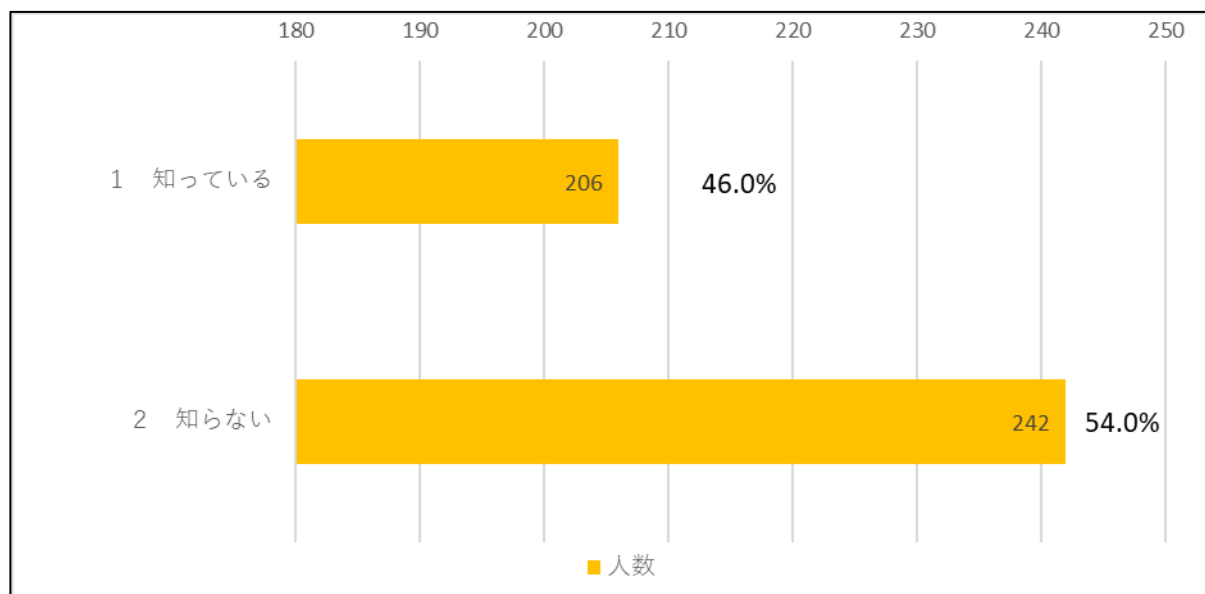
【問2-2】 生きている以上、他人に迷惑をかけるのは仕方のないことだ。



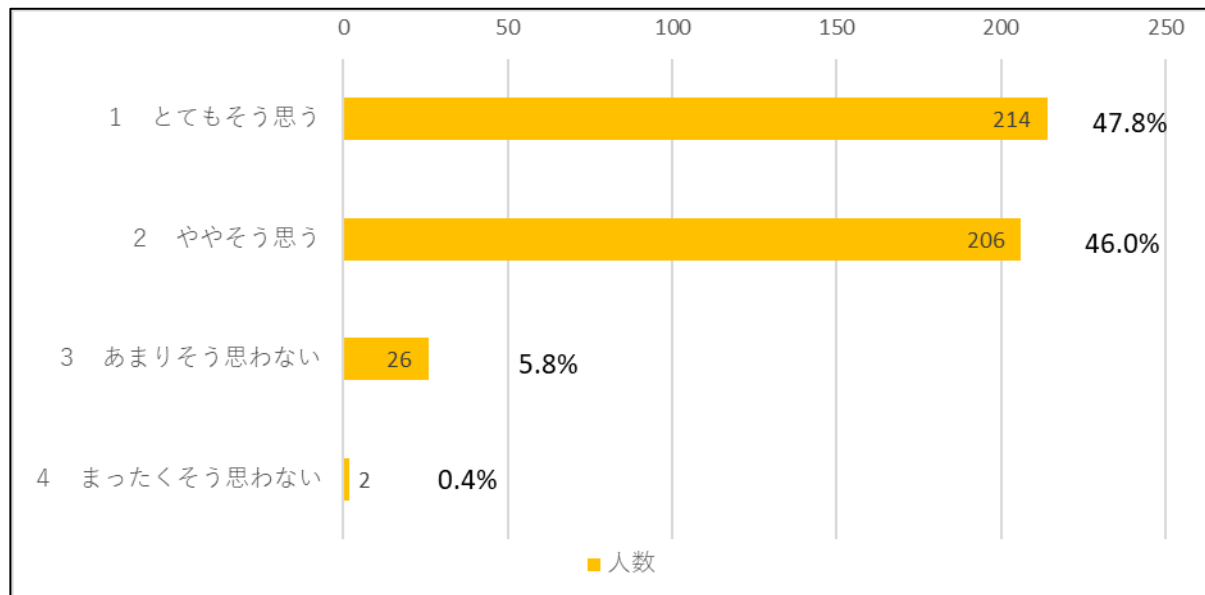
【問2-3】 今、抱えている悩みがある。



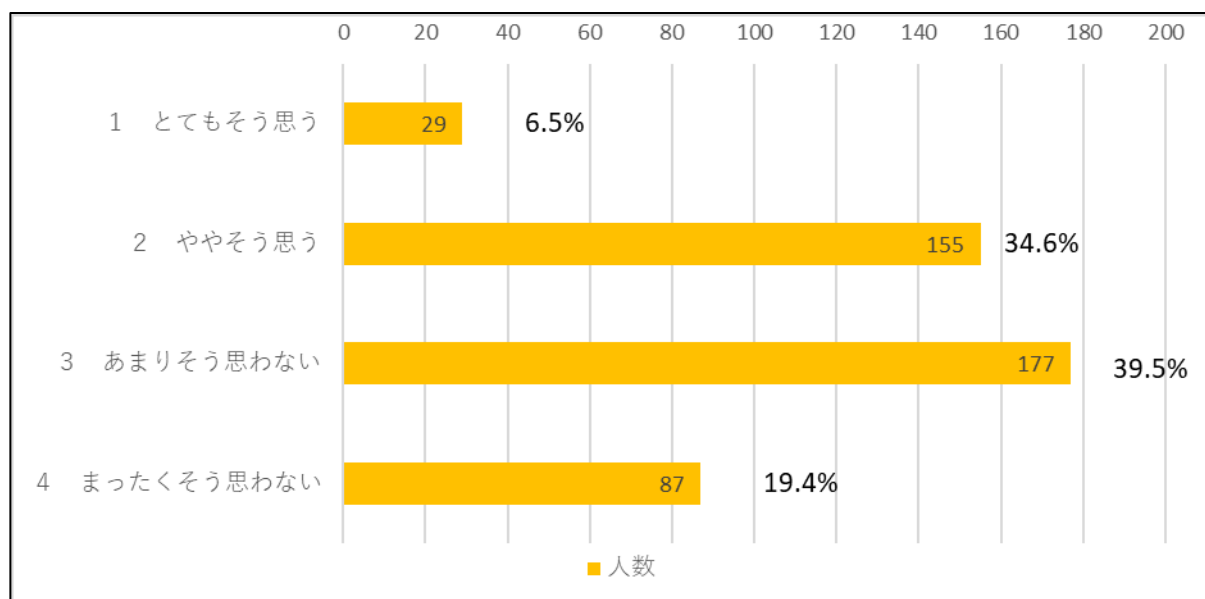
【問2-4】 悩みを抱えた時に、相談できるサービス(地域の相談場所、電話、SNS、オンラインなど)を知っている。



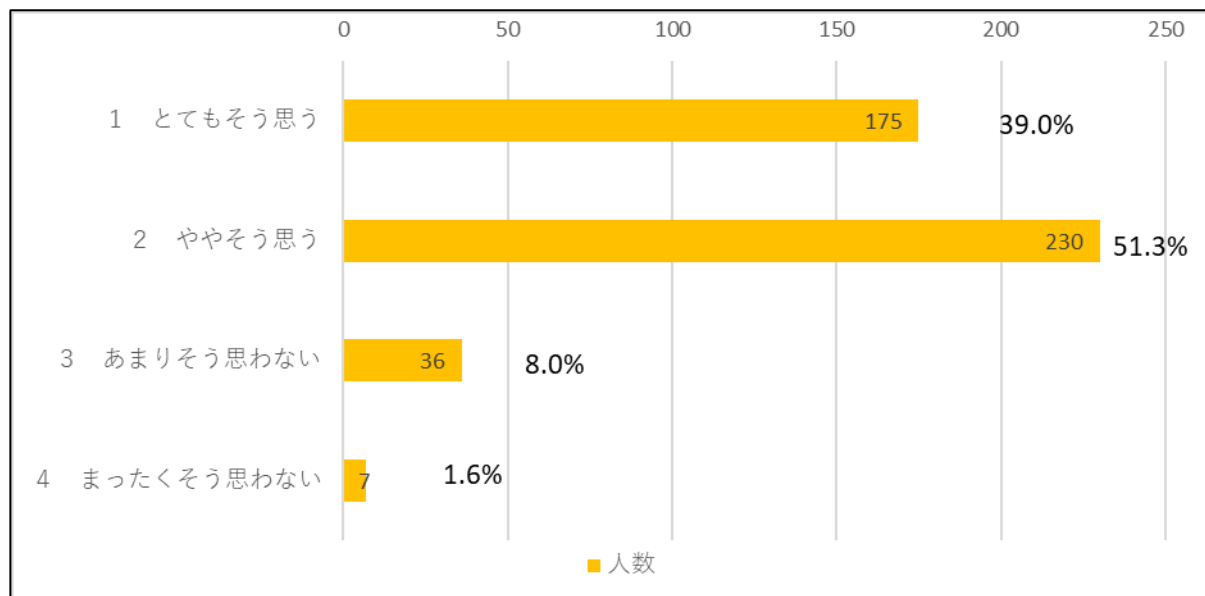
【問2-5】 望まない孤独や孤立は誰にも訪れる。



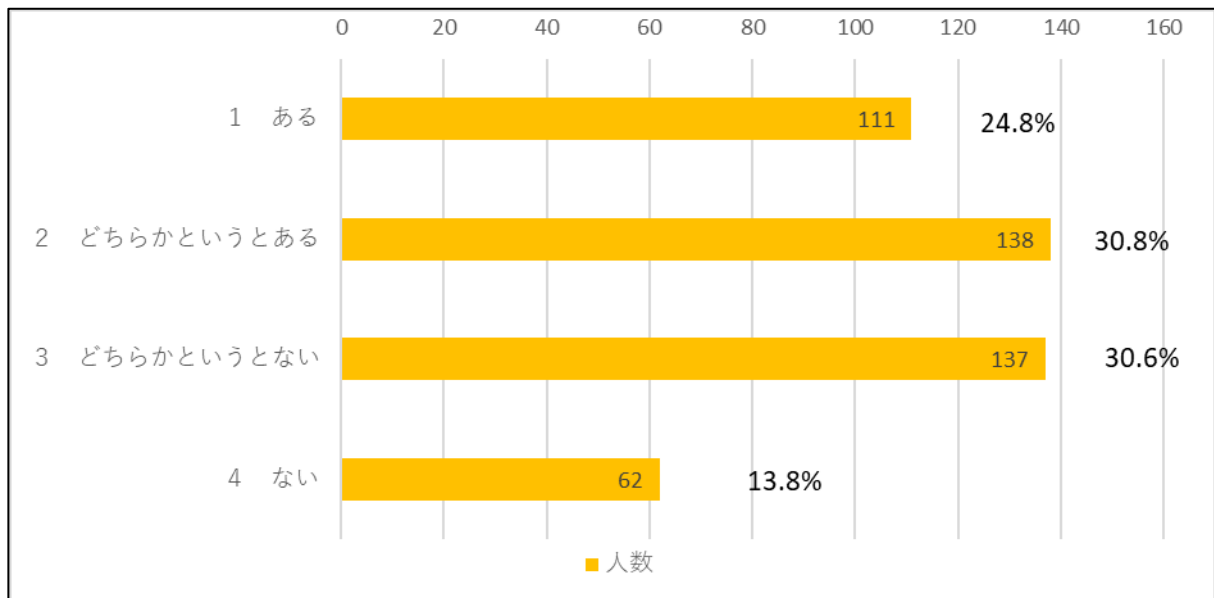
【問2-6】 今の生活は経済的に余裕がある。



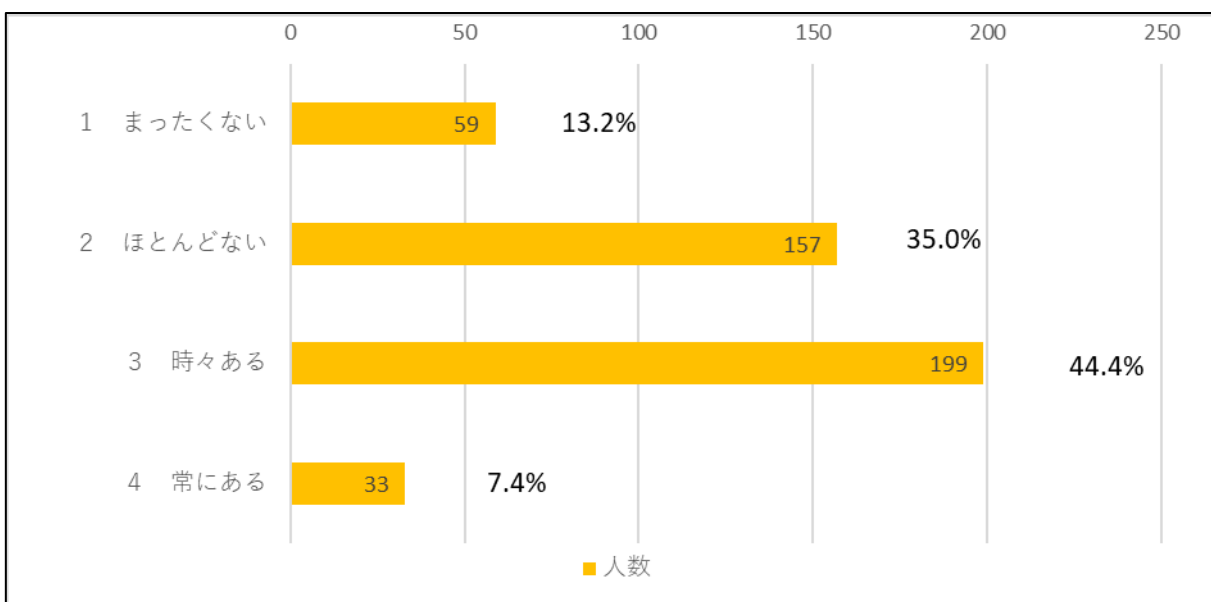
【問2-7】 生きている以上、何かの役に立っているほうがいい。



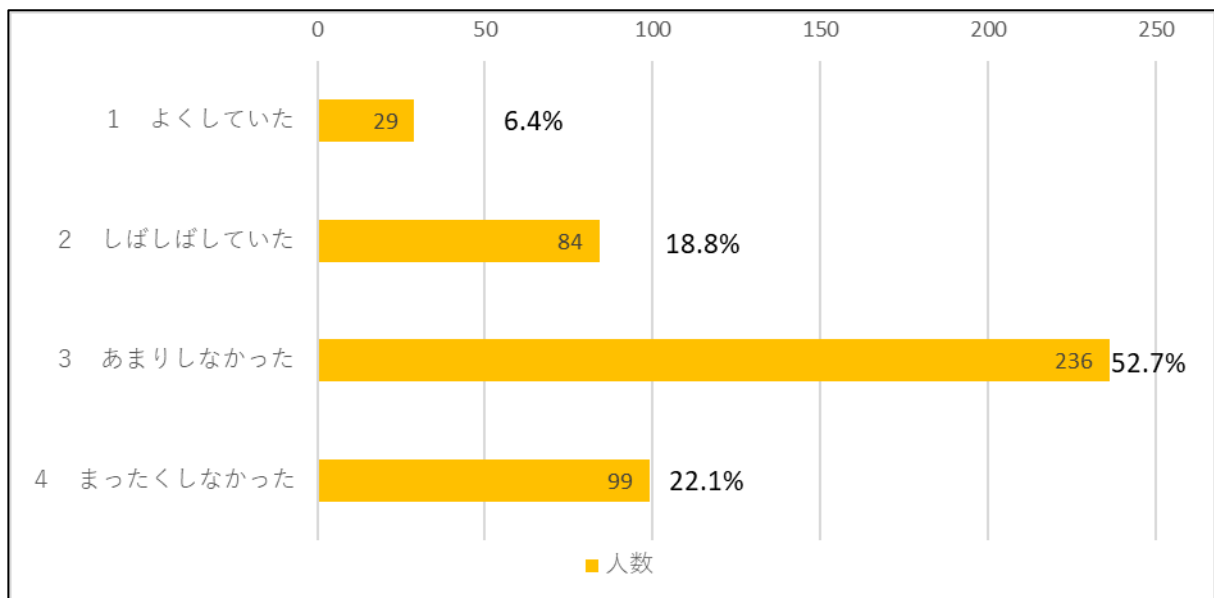
【問2-8】 自宅や学校、職場以外で、人とつながれる場所がある。



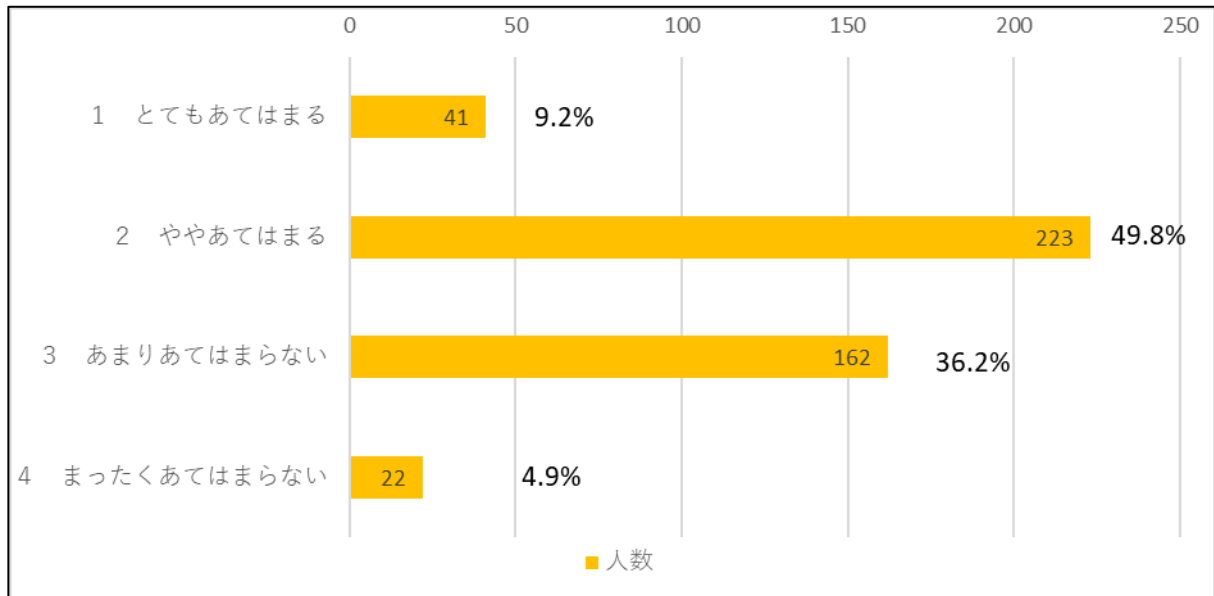
【問2-9】 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある。



【問2-10】 子どもの頃、悩みを抱えた時に誰かに相談していた。

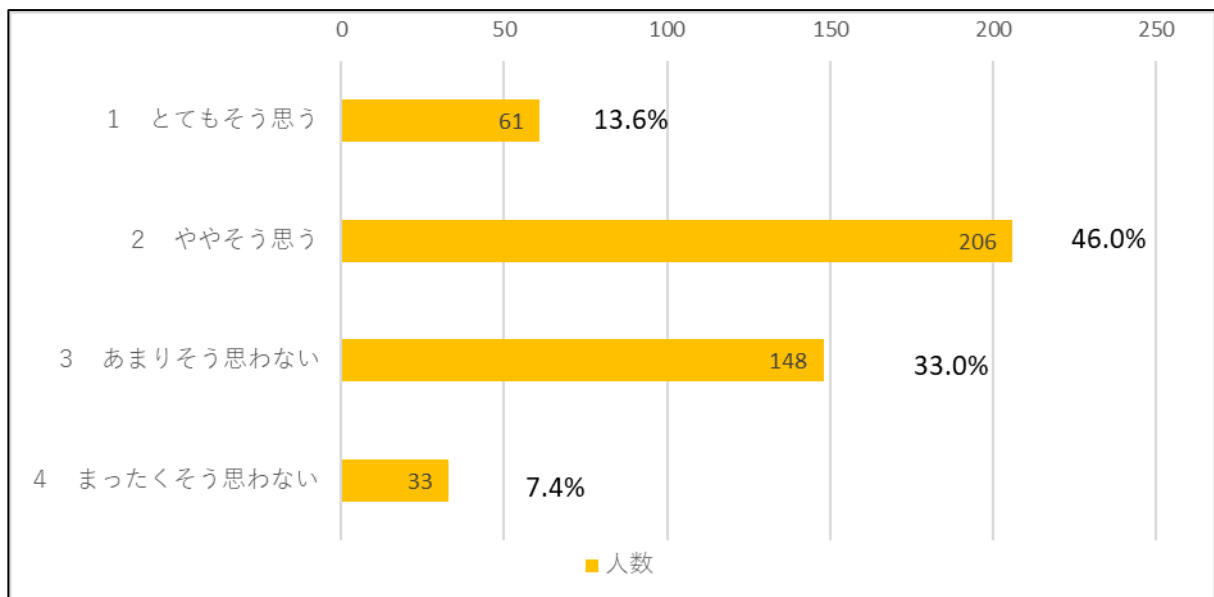


【問2-11】 自分と違う考えや価値観をもつ人と話し合うことができる。

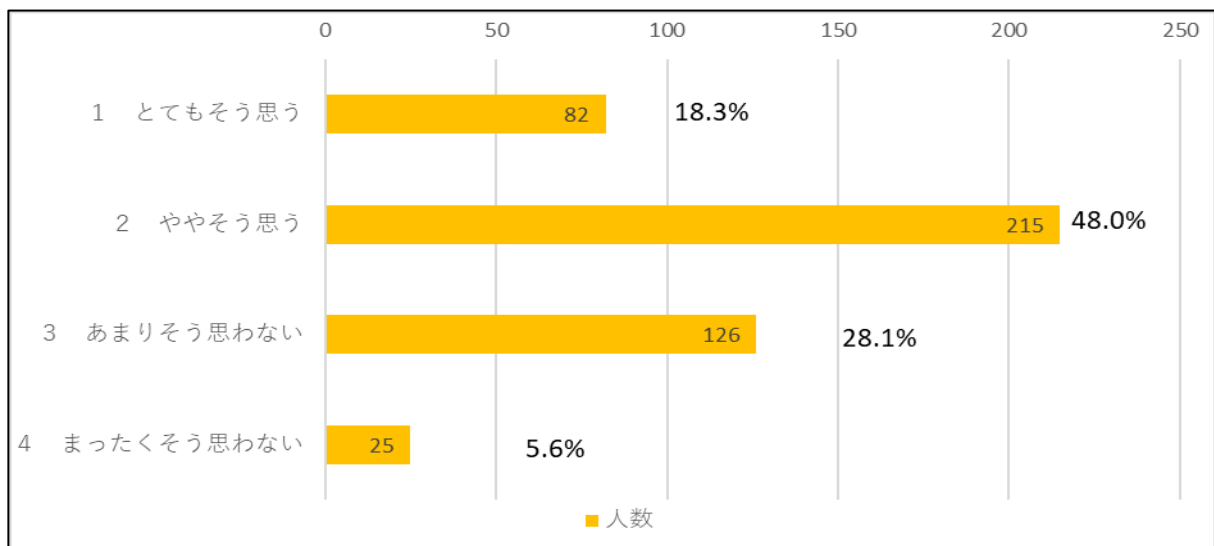


【問3】 あなたが悩みを抱えた時のことについて、ご自分の考えにもっとも近いものを1つずつお選びください。

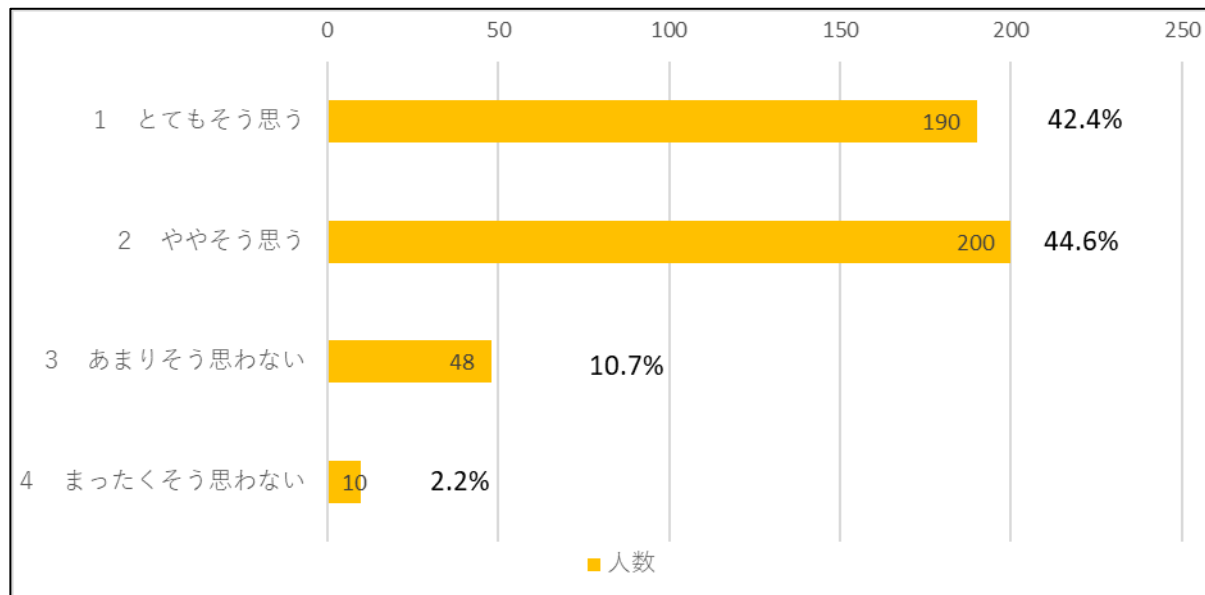
【問3-1】 悩みを抱えた時、誰に声をかけてよいかわからない。



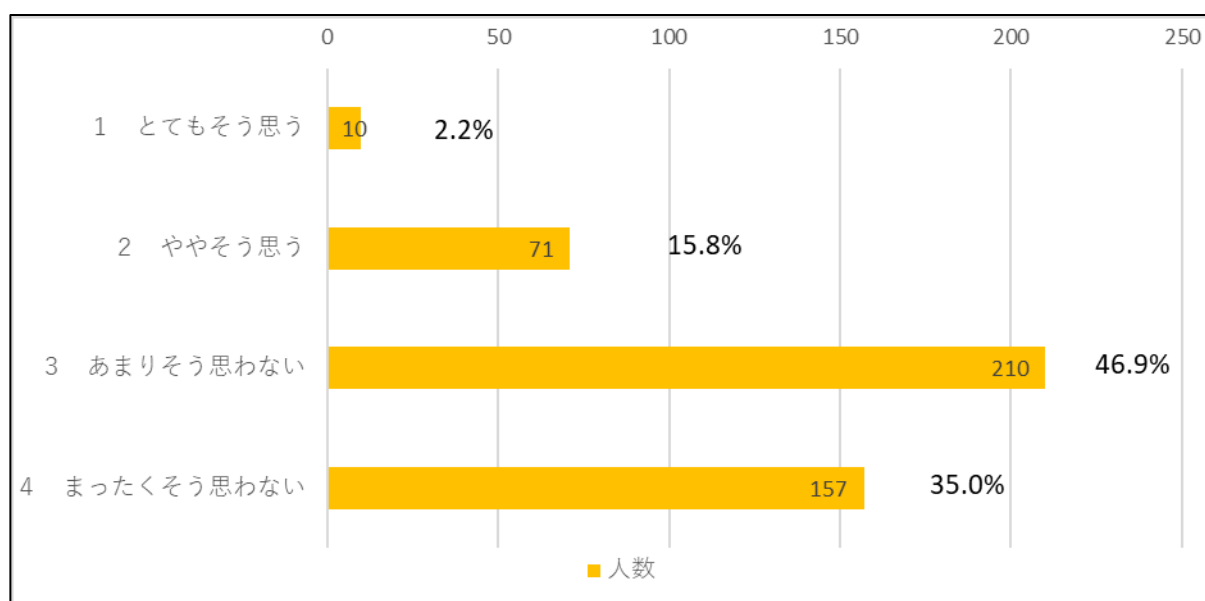
【問3-2】 悩みを抱えた時、どのようにサポートを求めてよいかわからない。



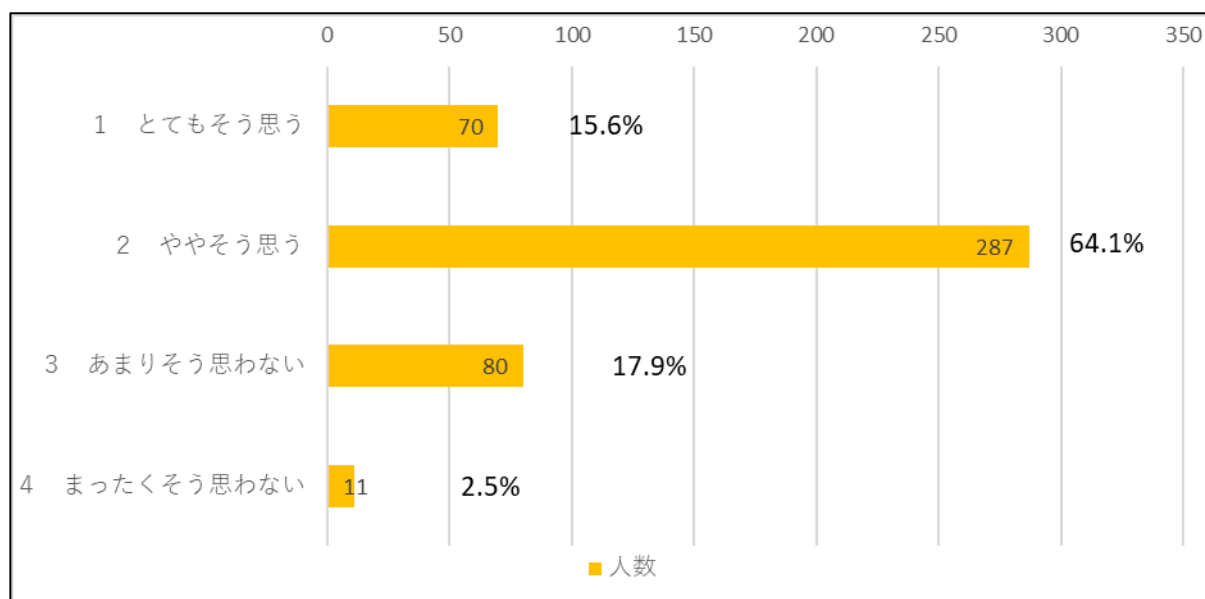
【問3-3】 悩みを抱えた時、誰かに話を聞いてもらうだけでも意味がある。



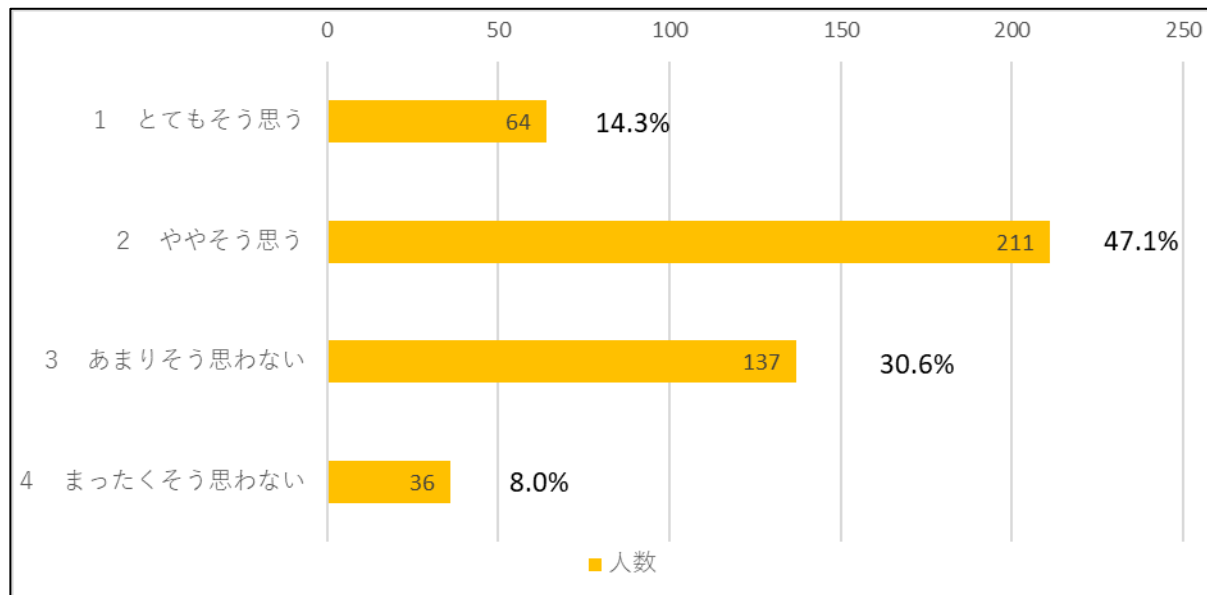
【問3-4】 悩みを抱えた時、誰かに相談するのはみっともない。



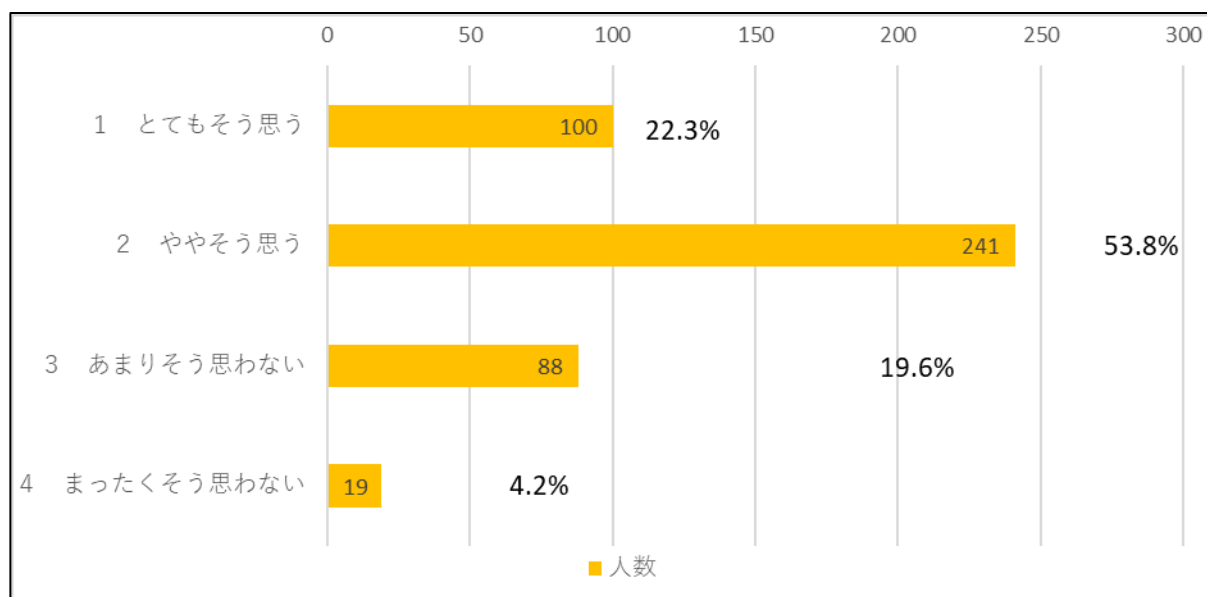
【問3-5】 悩みを抱えた時、何かの方法でそれを解消できると思う。



【問3-6】 悩みを抱えた時、信頼できる人なら面識のない人でも相談したい。



【問3-7】 誰かに相談して思うように対応してもらえなかった時、別の人に相談したい。



【問4】 どのような地域になれば、助けてほしい時に「助けて」と気軽に言えますか。あなたのお考えがあれば教えてください。

※自由記載のため省略